

お知らせ

資料提供先

県政記者クラブ
県政記者会
県政滝町記者クラブ

～10月17日、現地で交通死亡事故が発生～

国道9号山口市阿東地福上地区において
交通事故対策を行います

国道9号阿東町事故対策検討会（平成21年12月22日（火））において、検討された交通事故対策（切削型注意喚起舗装（ランブルストリップス）や視線誘導標など）を以下の日程で実施します。

日時：平成22年2月24日（水）～2月28日（日）（予定）
対策箇所：山口市阿東地福上（国道9号546K900m～548K230m）
内容：詳細は別添のとおり

お問い合わせ先

国土交通省 山口河川国道事務所

電話番号（0835）22-1785（代表）

副所長（管理担当）

いもおか としあき
芋岡 利昭

交通対策課長

こんたに まさのり
紺谷 正紀

【広報担当】計画課長

やまうち かずのり
山内 和則

国土交通省 山口河川国道事務所 山口国道維持出張所

電話番号（083）928-0031

【工事担当】山口国道維持出張所長

おかざき みつひろ
岡崎 光博

山口県警察本部 交通部 交通規制課

電話番号（083）-933-0110（代表）

次 長

かわむら みつのり
河村 充則

国道9号山口市阿東地福上の事故対策の実施

1. 主 旨

山口県阿東地域を通る国道9号は、片側1車線で長い直線とカーブが混在し、居眠りやスピードの出し過ぎと思われる正面衝突事故が発生しています。

平成21年10月17日には、大型車同士の正面衝突による死亡事故が発生し、防府・山口・阿東に交通死亡事故多発ブロック警報が発令されました。また、過去に同じ箇所においても、正面衝突による死亡事故が発生しており、早急な対策が必要となっています。

こうしたことから、本地域における安全性の向上に向けて、現状課題に対する対策の検討を行うため、道路利用者、交通管理者、道路管理者、阿東町（現山口市）による検討会を平成21年12月22日に実施し、現地点検・意見交換を行い、対策の検討を行いました。

このたび、検討会での意見を踏まえ交通事故対策について、下記のとおり行います。



正面衝突事故発生現場
(平成21年10月17日)



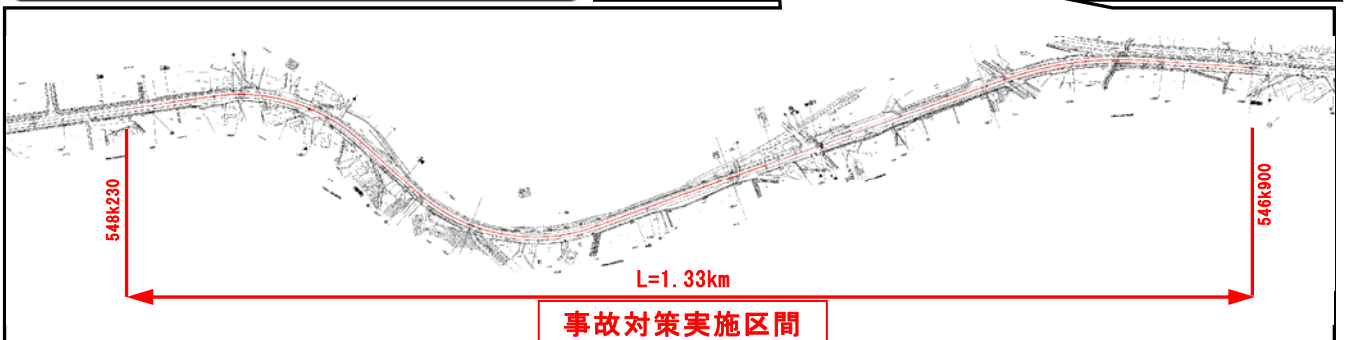
事故現場現地点検の様子



検討会(意見交換)の様子

2. 事故対策箇所

施工箇所：国道9号山口市阿東地福上（546k900～548k230 付近の約1.3kmの区間）



3. 事故対策内容(各対策の概要を次頁に示しています)

- [1] 死亡事故発生箇所を含む区間約1.3kmを対象に、反対車線へのはみ出しを抑制する「切削型注意喚起舗装(ランブルストリップス)」の事故対策を試験的に施工。
- [2] 曲線部における視線誘導対策の強化。
- [3] 路面標示(減速マークや中央線)の改良、追加。

4. 工事予定期間

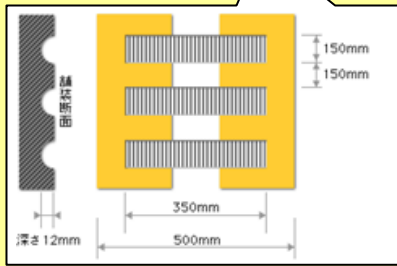
平成22年2月24日(水)～平成22年2月28日(日)

<参考資料：事故対策内容>

[1] 「切削型注意喚起舗装(ランブルストリップス)」による逸脱防止対策



実施事例



凹型パターン溝の標準的な構造

- ・車道中央部の舗装表面を一定間隔に切削し、凹型パターンの溝を連続的設置することで、その上を車両が通過した際に振動と音が発生し、**車線逸脱に対するドライバーへの覚醒を促す交通事故対策の新技术**です。
- ・車両が中央車線の溝を踏むと、「ゴロゴロ」という音と振動を発生させ、ドライバーに**車線を逸脱している注意を促す**ことで、ぼんやり運転や居眠り運転の防止を図る。
- ・**雪**で路面表示が見えなくなった場合でも、ある程度の効果があります。また、凹型の溝であることから、除雪作業に支障がありません。
- ・**短時間で施工**が行えます。

[2] 視線誘導強化対策(曲線部)



実施事例
(全面反射型視線誘導標)



夜間



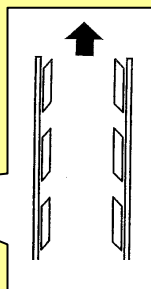
実施事例
(車両用防護柵への
反射材貼り付け)

- ・視線誘導対策によって、**視線誘導効果**を高めます。

[3] 路面標示(減速マーク)



実施事例
(減速マーク)



- ・曲線部及びその前後の直線部を対象に、**減速マーク表示**を行い、**現況設置箇所と連続した注意喚起**を行います。

切削型注意喚起舗装(ランブルストリップス)施工日は2月25日(木)です。
取材は2月25日(木)9:00~11:30の間、以下の集合場所
にて対応します。

事故対策完成日は2月28日(日)の予定です。

集合場所 547K200 付近

